

10月23日

音羽三山(音羽山・経ヶ塚・熊ヶ岳)

竹原順治

|        |   |     |        |     |       |
|--------|---|-----|--------|-----|-------|
| 山名     | 音羽三山(音羽山・経ヶ塚・熊ヶ岳)   | 山行名 | 例会     |     |       |
| ルート    | 下居バス停から音羽三山を縦走して不動滝に下山  |     |        |     |       |
| 山行日    | 2018年10月23日   | 天候  | 曇り一時雨  |     |       |
| 参加者    | リーダー：竹原順治<br>サブリーダー：森本竜二<br>男性：赤松隆二、佐々木康治<br>女性：上田秀子、大林京子、竹原絹栄<br>合計：7名   |     |        |     |       |
| ルート概略図 |   |     |        |     |       |
|        | コースタイム  |     |        |     |       |
|        | 地名  | 時：分 | 地名     | 時：分 |       |
|        | 下居バス停   | 着   | 熊ヶ岳    | 着   | 12：15 |
|        |   | 発   |        | 発   | 12：20 |
|        | 観音寺   | 着   | 大峠     | 着   | 12：55 |
|        |   | 発   |        | 発   | 13：05 |
|        | 音羽山   | 着   | 不動滝    | 着   | 14：05 |
|        |   | 発   |        | 発   | 14：10 |
|        | 経ヶ塚山  | 着   | 多武峰バス停 | 着   | 14：15 |
|        |   | 発   |        | 発   |       |
| 山行報告   | <p>平日の山行。参加人数がどうなるか心配したが7人になり一安心。ところが、全く心配していなかった天候が直前になって心配の種となった。午前中30%、午後60%という前日の降水予報で決行を決断。新田辺7：04発檀原神宮前行き急行に乗車し、大和八木乗換で桜井到着。バスに乗り換えて下居8：20到着。今日の山行経路を全員で確認して8：30歩行開始。農家の庭先で季節外れの一輪のアジサイに目が止まった時、一粒の雨粒が。空き地で準備体操をして観音寺への急坂を進む。観音寺で雨は本降りに(予報より早すぎる)。雨具をつけて音羽山への沢のぼりのような流水の岩場を登って行った。この経路、下見の時とは違っていることに途中で気付くが、YAMAPの経路上なのでこの急坂を強行突破。なんとか展望台のある下見のコースに合流。音羽山山頂では雨脚は弱い。集合写真を撮って経ヶ塚へ。経ヶ塚山頂では雨はなんとかあがり、ゆっくりと昼食がとれた。昼食後、濡れた足元に注意をしながら急な下り坂を一步一步下り、下りきって、今日の最後の山頂・熊ヶ岳への急坂を上りきった頃には、雲間から薄日もさすような天候の回復に恵まれる。しかし、油断はできない。全員、雨具をつけたままの行軍を続け大峠に到着。ここから1時間は不動滝につづく沢に沿ったコンクリートの単調な下り坂。その単調なリズムに沢蟹が変化をつけて癒してくれる。雨はすっかりあがり、雨具も脱いで不動滝に無事到着。一つ上流のバス停多武峰まで足を延ばし、そこのコンビニで入手したビールをバス停のベンチに掛けて飲みながら下りのバスを待ちました。</p> <p>予報より半日も早く降り出した雨に、ひやひやさせられ通しでしたが、結果良ければすべてよし。上り下りに富んだ記憶に残る山行になりました。</p> |     |        |     |       |
| ヒヤリハット | 無し。   |     |        |     |       |

## 音羽三山山行感想文

森本 竜二

定刻の桜井南口 8:12 発談山神社行きバスに乗車。下居(おりい)下車し、8:31 スマホの皆さんは YAMAP スタート。私はガラケイですが、城陽市の山で道迷いし、不安になった時に購入した、登山用の GPS をスタート(高度 236m)。音羽観音寺の駐車場に移動し会長の号令で体操してから、結構な坂道を登り始めました。集落を過ぎると坂がきつくなり「4 輪駆動しか登られへん。」と、話しつつコンクリート道をひたすら登ります。

9:31 葉付き銀杏が有名な観音寺到着(604m)。NHK の E テレに出演しているという尼さん 3 人の人形が迎えてくれました。到着前から降り出した雨が本降りになってきたので、それぞれが本堂の屋根の下で雨対策して出発。コンクリート道から解放され、幅 1 メートル程の谷川を石を選び兩岸に渡りながら登り、管理された杉林 の急登もなんのその?音羽山山頂(852m/3m の誤差を高度校正)に無事到着。

下ってまた登って 2 座目の経ヶ塚山(889m)では、雨も上がり無事に昼食タイム。下ってまたまた登って 3 座目の熊ヶ岳(904m/GPS 表示 913m)12:16 到着(赤松さんの YAMAP も私の GPS も手前のダミーと思われたピークが山頂表示されていた)。縦走と言うより登った感を満喫しました。

「ここからは下りやから、あっても小さなコブぐらいです。」との竹原さんの言葉に一同元気になりました。反射板(865m/近鉄が設置した無線連絡中継板)を過ぎ、大峠(784m)から破不動尊方面へ。しばらく下ると沢水が流れ込むコンクリート坂道になり、沢蟹と小石を避け滑らないように注意して転倒せずに下り切りました。不動の滝と、大岩を刀で真っ二つに切り分けた破不動尊を見学。トイレ、コンビニのある多武峰バス停(402m)から帰途に着きました。下居下車から多武峰乗車まで 6 時間の山行でした。

CL 竹原さんの下見と綿密な山行管理で危険場所が前もって把握でき、1 時間に 1 本のバスにも柔軟に対応されたと思います。私は SL に指名されガイドブックで役割確認しましたが、後ろから皆さんの脚力について行くのがやっとでした。カップの暑さと山頂での汗冷えも経験でき、梨、キウイその他の差し入れも美味しく頂きました。皆さま有難うございました。近くて穴場的な奈良の山はいいですね。又行きたいです。



音羽山山頂



熊ヶ岳山頂



経ヶ塚山頂